

BOOK REVIEW

ブックレビュー

編集部厳選の3冊

労働力不足や事業環境変化の激しさなどを背景に、「人的資源」をいかに獲得し、適切なマネジメントによって最大化していくかというHR戦略にきわめて大きな注目が集まっている。人材ビジネスの理想像は、クライアントのHR戦略立案・実行におけるアドバイザリー、パートナーとなり得ることだろ。こうした理想像を意識している人に一読してほしいのが、人材資源の獲得にあたる「採用」とマネジメントのコアである「評価」についての知識をまとめた本書だ。

著者は、人事分野のコンサルタントとして高い評価を得、特定非営利活動法人・人事コンサルティング協会の理事長を務める人物。同協会は「人材測定コンサルタント」という資格の認定元であり、本書は同資格認定試験の公式テキストでもある。本書を手に取ったことを契機として同資格に挑戦するという新たな目標を見出す読者

HR部門責任者のアドバイザーとなるための必須知識を網羅

『人材採用・人事評価の教科書』

各務晶久

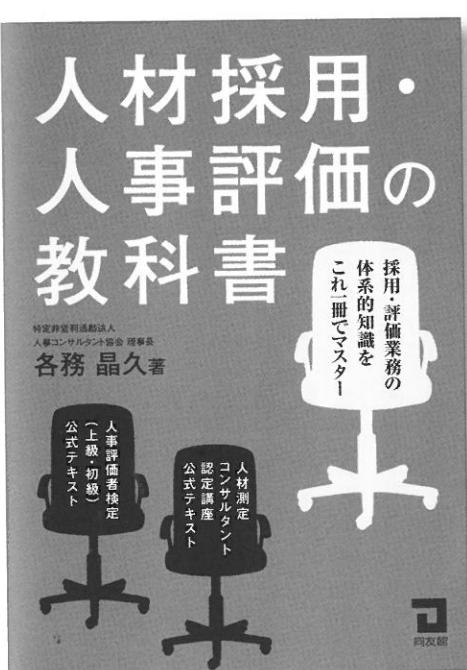
もいるだろう。

「人材採用」に関しては、労働者派遣やアウトソーシングなど、いわゆる「労働サービス」の活用も含め雇用ポートフォリオに基づく採用人数の決定といった「採用計画」、職務適応能力・職場適応能力・コンピテンシーなど求める人材像の策定・採用マーケティングの考え方などが図解も多用しながら

学べると共に、事例研究なども挙げられており、人材ビジネスに関わる人にとってはリアリティーを持つて読み進められる内容である。人材ビジネスをクライアントの視点から見るという意識を育てる契機ともなるだろう。企業の経営者、人事戦略の立案に関わる責任者などに頼られる存在になるために役立つ一冊だ。

「人事評価」についても、成果主義と能力主義それぞれの詳細、モチベーション理論や目標管理制度の概要や運用方法、人事評価の種類や評価面接のポイントにいたるまで、詳細に解説されている。最新の学説を含め体系だつた知識が

話題の一冊



同友館 2200円+税